

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

|  |                 |                 |
|--|-----------------|-----------------|
| 事業番号：D-1-3<br>事業名：五十刈線道路整備事業（市街地相互の接続道路）   |                 |                 |
| 事業費：総額 1,743,439千円 国費 1,351,166千円<br>（内訳：用地費69,008千円、補償費99,015千円、測量設計費198,143千円、<br>工事費1,377,273千円）  |                 |                 |
| 事業期間：平成24年度～令和2年度  |                 |                 |
| 事業目的：本路線は、津波により壊滅的な被害を受けた吉田東部地区から市街地・内陸部へ連絡する道路整備。また、集団移転先2か所と被災地を結ぶ路線である。また、高台の避難所に指定されている吉田小学校に避難する際に狭隘な箇所があり、迅速に避難できない状況にあるため、内陸部への道路網を整備するものである。 |                 |                 |
| 事業地区：吉田地区  |                 |                 |
| 事業結果：町道五十刈線 L=2,140m W=11.5m<br>吉田東部地区から市街地内陸部への道路網が構築され、地震による津波が発生した場合、指定避難所にスムーズな避難が可能になった。  |                 |                 |
| 事業の実績に関する評価  |                 |                 |
| ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価<br>○当該事業で整備した避難道路は、災害発生時、指定している避難所へ迅速な避難を可能にしたとともに、内陸部へ整備した防災広場と一体化したことにより円滑な安全確保を行った。上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。     |                 |                 |
| ② コストに関する調査・分析・評価<br>○本事業は工法検討や経済比較などを実施し、土木工事積算標準書を用いるなど合理的な設計積算のもと事業を推進したため、事業費は妥当と判断する。   |                 |                 |
| ③ 事業手法に関する調査・分析・評価   |                 |                 |
|  | 想定した事業期間        | 実際に事業に有した事業期間   |
| 測量・設計  | 平成24年6月～平成25年3月 | 平成24年9月～令和2年3月  |
| 用地   | 平成25年4月～平成25年6月 | 平成26年7月～平成29年7月 |
| 工事   | 平成25年7月～平成31年3月 | 平成27年2月～令和3年3月  |
| ○本事業は平成24年9月から事業に着手し、国道協議や砂防協議、またJR踏切拡幅に伴う協定など行いながら令和3年3月に工事を終えており、当初想定した期間より時間を要したものの、競争入札方式などを採用するなど、事業手法としては妥当であったと判断する。                          |                 |                 |
| 事業担当部局<br>巨理町都市建設課都市整備班 電話番号：0223-34-0507  |                 |                 |